



<CAM フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

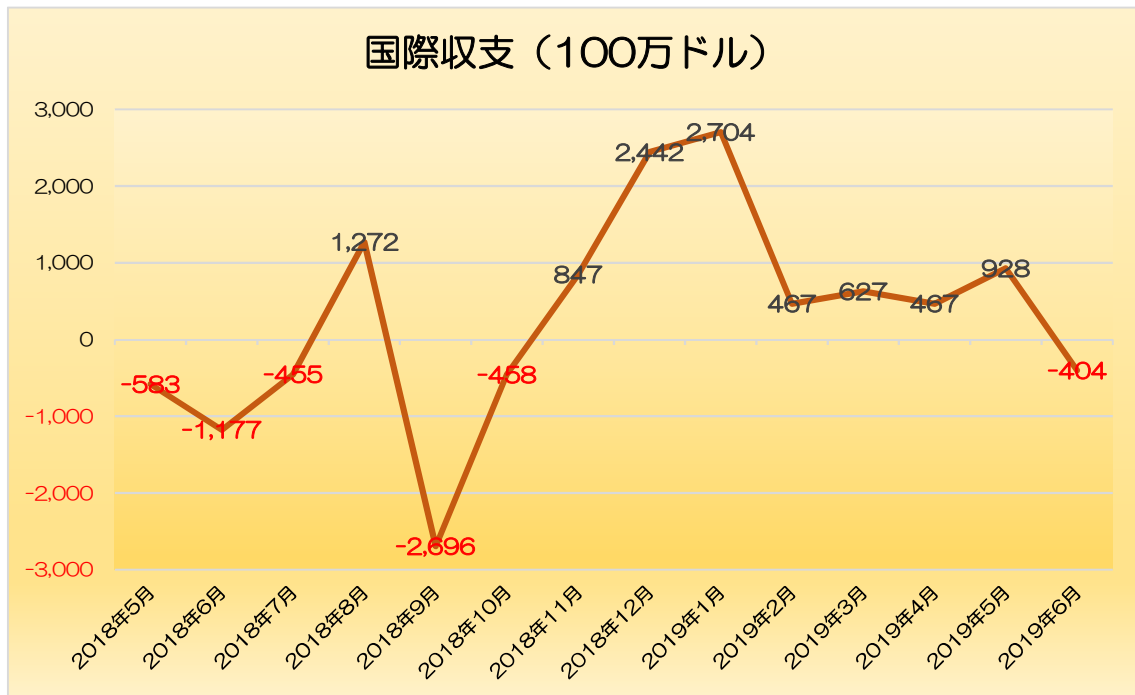
2019年7月22日

フィリピンの国際収支

1~6月は約48億ドルの黒字

フィリピン中央銀行(BSP)が発表した純外貨準備高(NIR)の変動から算出した6月の月間国際総合収支(BOP)は約4億ドル(約430億円)の赤字となり、2018年11月から7カ月連続で続いた黒字から赤字に転落。政府の外貨建て債務返済による資金流出が、政府の外貨建て預金、中銀の外貨運用や海外投資収益による資金流入を上回った。2019年上半期(1月-6月)累計では、約48億米ドルの黒字となり、前年同期の約37億ドルの赤字から黒字に転換した。

6月末の総外貨準備高(GIR)は約858億ドル(改定値)で、輸入の7.5カ月分に相当する水準で、元本ベース短期負債の5.1倍、残存ベース短期負債の3.7倍に相当する水準でもある。フィリピン人海外就労者(OFW)からの送金及び年初4カ月間の外資直接投資(FDI)の純流入が寄与している。



出所：BSP

以上